

就職活動・社会人の心構えとしての SNSやネットとの付き合い方

デジタルネイティブ世代はほとんどの機器・環境が揃った時代に生まれ、私生活の中で当たり前のようにそれらを使いながら育ちました。彼らは若くて柔軟な感性と対応力で、新たなツールを瞬時に習得し、使いこなす力を持っていますが、社会生活の中での使い方については、誰からもちゃんと教わってはいないのです。

また、アナログ時代経験者たちのようなデジタルツールに対する慎重さが希薄なため、うっかり、あるいは全く意図せず、トラブルの火種を作ってしまう可能性も秘めています。

「人間こそが最大のセキュリティホールである」とも言われる時代。学生たちが自らの将来を台無しにする行動に至らないよう、就職先から「この学生は信頼できる」と評価されるように、今、大学・短大・高専で取り組めることを考えていきましょう。

<プロフィール>

日本IBMにてコンサルティング、人材育成、プロバイダー事業、教育ソフト監修等を手がけ、2005年フリーのコンサルタントに。同時に「ネット教育アナリスト」としての活動も開始し、情報モラル、情報リテラシーほか、インターネット教育の専門家として、講演や執筆、研修指導、カリキュラム作りのアドバイス、関連事業のコンサルティングなどを行う。

安心ネットづくり促進協議会「普及啓発広報委員会」副委員長
内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」委員
文部科学省「中央教育審議会 スポーツ・青少年分科会」委員
文部科学省事業「ケータイモラルキャラバン隊実行委員会」副委員長
内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)「情報セキュリティ社会推進協議会」運営委員
(一社)モバイルコンテンツ審査・運用監視機構(EMA)理事
情報社会学会 会員 ……ほか



2015年7月31日 ネット教育アナリスト 尾花 紀子

オフィシャルサイト <http://www.frey.jp/>

具体的&実践的な“学生支援プログラム”のアイデア

1・2年生 大学生活の中で個々人が意識したいこと&気をつけたいこと

- I 将来を台無しにしかねない“負の行動”を回避できるよう、「規範意識」の見直し
- II 「プライベート」から「社会的活用スタート」への移行に必要なリテラシーの習得
- III パスワード管理を含む「セキュリティ意識(危機管理意識)」の醸成

3年生 就職活動等、社会に踏み出す時期にあらためて考えたいこと

- IV 採用のための評価・判断材料をネットで得る企業・団体を意識した利活用
- V 就活中に得た情報や感想などの提供・収集、いずれでも気をつけたい“注意点”

4年生 卒業後、社会に出てすぐに役立つ知識・ノウハウ・考え方

- VI 感覚の違うアナログ世代と働くには、相手に伝わるコミュニケーションが不可欠
- VII プライベート感覚はNG!公私を区別し、デジタルツールをプラスに使いこなす

将来の自分のためにも、考えながら使うクセをつける

簡単&自由に使えるスマホも、ネットにつなげば公共のメディア発信機

1. 公開性

- ネットは公開されている＝インターネットを利用する誰もがみられる
- たとえメンバー限定や鍵付きでも、読める人の“うっかり”で流れることも
- だから、載せられるのは誰にも見られて大丈夫なコト&モノだけ!

2. コピー・保存・転送

- 一度でもネットに載ったものなら、誰でも簡単にコピーができる
- コピーデータは劣化せず、保存、大勢へのばら撒き、Web再公開も可能
- 削除しても“載らなかった頃の状況”には戻せない＝「デジタルタトゥー」

3. 追跡性

- 見た目は「匿名」でも、ネット上のIPアドレス(ネット上の住所)は固定
- 事件や犯罪に関わるような場合は、追跡できるシステムになっている
- 誰がやったかを知る人の“悪意”または“うっかり”で特定されることも多い

「インターネットの特性」を忘れてしまうほど、スマホは手軽。常に意識するよう促したい!

法を正しく知り、加害者・被害者にならない行動を促す

●もしも、年下(18歳未満)の彼氏・彼女だったら……

改正「児童買春・児童ポルノ禁止法」

18歳未満の性的な画像の「所持」を新たに禁止。
性的好奇心を満たす目的での所持は、1年以下の懲役もしくは100万円以下の罰金。

撮影すると「製造違反」
送信すると「提供違反」
持っている「所持違反」

●たとえば、別れたり、思うようにならなかったりしても……

「リベンジポルノ/防止法」が新たに成立

(私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律)
プライベートで撮影した元交際相手の性的な画像を、被写体の人物が第三者に特定できる方法でインターネット上に公開するなどした場合、3年以下の懲役もしくは50万円以下の罰金。

被写体が男性か女性か
18歳未満か以上か
等に関わらず
公開すると「公表罪」

無断でタグ付けする行為もトラブルの元

恋愛は自由♥でも、カップルでの写真や動画の扱いには要注意!
ネットへのアップがトラブルに発展することも少なくない。

盗まれたら財布より怖い？ スマホは個人情報の宝庫

これだけの情報を持ち歩いているという自覚はありますか？

電話番号 メール 写真データ スケジュール メモ書き

メールアドレス 映像データ ログインID パスワード

※この他、位置情報やアクセス情報など発信している情報にはプライバシーに関わるものも…

端末やクラウドに保存されている
“プライベートな情報”が流れてしまう理由

紛失・盗難、置き忘れ、貸す・預ける 不正アプリ、ウィルス、詐欺サイト

「うっかり」「故意に」自分で発信 パスワードが盗まれ不正アクセス

SNS等で複数の情報が集まれば個人が確定できる
(ネットに散在するプロフィールやコメント等を組み合わせる)

自分に直接関係するセキュリティは自分で行うクセを

どんなにたくさんあっても、自分だけにはわかる工夫！
“忘れにくい”パスワードを作るためのアイディアは「二分割」

パスワード：A (単語) + パスワード：B (数字) 3~4桁が覚えやすい

同じ頭文字を持つ単語の例	amazon なら anpan	+	0309	妹の誕生日	組み合わせさせて使う数字の例
	楽天市場 なら rurouni		0707	弟の誕生日	
	Google なら gijidou		0102	両親の結婚記念日	
	LINE なら lovelove		0910	彼氏(彼女)の誕生日	
	twitter なら tanuki		1130	好きなタレントの誕生日	
	facebook なら fujisan		1651	好きな野球選手名と背番号	

この方法はあくまでも一例ですが、「amazon」のパスワードだったら「anpan」から始まり「妹や弟の本をたまに買ってあげる」ということで「anpan3977」とする、といった感じです。

デジタルツールに関する解決の糸口は、デジタル技術ではなく人間の発想力

ルール、モラル、マナーの違反は自己評価を下げるかも

気をつけたい！ 悪口や個人攻撃、炎上トラブル、不用意な情報公開

1. そもそも、誹謗中傷など悪意のある書き込みは禁止されている

正しい運営をしているブログやコミュニティサイトの利用規約には、「誹謗中傷の禁止」等ははっきりと書かれています。これは、ネットを利用する上でのモラルでもあります。ルールやモラルを無視した投稿が目につけば、規範意識に欠ける人だと判断される可能性もあり、些細なことでも評価に影響を及ぼすとは言えません。

2. 不用意な書き込みや感情任せのやり取りが、トラブルの元凶になることも

ストレスが溜まると、人は、書いていいことと悪いことの判断力が鈍ります。大切な時期だからこそ、ネットへの投稿も、コミュニケーションアプリでのメッセージも、読む人を考え、感情に走らず、考えて発信するクセをつけ、トラブルを防ぎましょう！

3. 個々の企業・団体に関する就活情報は、気軽にネットで提供しない

SNSで企業や採用担当者の悪口を書く学生もいますが、「匿名だからバレない」「鍵をかけてあるから大丈夫」とは限らないのがネットの世界。また、面接内容等の書き込みも「何でもSNSに書く」印象を与える可能性が。情報の交換は慎重に行いましょう。

企業の人たちはパソコンのメーカーで対応しています

企業とのやりとりで気をつけたいのは
「件名」や「内容」だけでなく「送信者名」「宛先名」の登録も！

受信メール		受信メール
送信者: 鈴木 雄太 日時: 2015/08/03 宛先: C社採用担当〇〇様 件名: 書類郵送の確認	✗	送信者: you_chan J 日時: 2015/08/03 宛先: C社(スベリ止めの方) 件名: 書類郵送の確認
〇〇大学文学部3年の鈴木雄太です。 7月2日にご連絡した際、7月中旬に郵送いただけるとのことだった書類ですが、本日の時点でまだ届いておりません。 お手数をおかけいたしますが、状況をお知らせいただければ幸いです。 どうぞよろしくお願いいたします。	✗	件名: 書類が届かない件 7月中旬に送ってもらえるという話だった書類が、まだ届きません。申し訳ありませんが、送ったかどうか確認して、連絡をください。 いったい、どこの大学の誰？ こんな文章で大丈夫？？

共感呼び、相手の心に届くための「伝え方」の工夫

例:大人はデジタル機器の使い方に関する想像力に乏しい?



連絡の確認

読書

会話

音楽

新聞

ゲーム

スマホがあれば全てできます。「みんなスマホを操作している」かもしれませんが、それぞれがやっていることは違うのかも!



「スマホばかりやってない!」と叱られることもあるでしょう。でも、何をしているのか見えないのは電車の状況と同じなのです。

<教師が小中高校生に「どんな使い方をしているか大人に話そう!」と促すときの伝え方の例>

SNSは「公開の場」、発言には相応の責任が生じる

※参考:弁護士ドットコムニュース内記事

「表現の自由」には他者の名誉や信用を傷つけてはならないという“限界”がある

「悪口」や「業務上の秘密」の公開は誠実義務違反や守秘義務違反になることもある

SNSを“サードプレイス”にしてはケン、居酒屋とは違います。

- 「実名」や「勤務先」が判断できそうな場合、発信には注意が必要。
- たとえ個人的な発信でも、会社の信用に関わる、契約義務違反、等と判断された場合、懲戒処分対象になる可能性も。

インターネット上にあるSNSでの発言 = “公開の場での言動”
社会常識やTPOに従い、責任を持って発言しよう!

メールはビジネスの要! 社会人としての使い方はこんな風に

例1)《BCC》で送られてきたメールに、うっかり Res All で意見!

上司が「勉強のために」とBCCで送ってくれたことに気づかずRes Allで返信。こんなことをしたら、上司や部署の信用問題にも発展しかねません。意見があるなら、送信元の上司のみに直接Resで返信するのが正しい対応です。《TO》《CC》《BCC》の確認と使い分けは、ビジネスメールの常識と心得ましょう。

例2) 金曜の夜送信したメールに、「月曜の午前中までに!」って(怒)

「相手がもう帰っていたら?」「土日にメールを読まなかったら?」「月曜日は外出(あるいは休暇)だったら?」……ということに気は回らないのでしょうか。何かを依頼するときは、祝日なども含む休業日と就業時間外を除外して、時間にゆとりをもってメールするのが鉄則です。

その他) 言葉づかい、大丈夫? 社会人として、しっかり行儀良く!

謙譲語や尊敬語が誤った形で使われているメールを時折みかけます。下手なら無理して使わず、「?」と思った時は丁寧語で乗り切りましょう! そのほうが、自分の価値を下げずにすみますから。



リスクを回避し安全な利活用を続けるには、各自の危機管理が不可欠

危機管理 ココがポイント! 常に実験中という覚悟で、注意を怠らない!

- I どんな時でも、インターネットの構造上の特徴を意識しながら利用
- II そもそも情報共有が前提のSNS、プライバシー保護への過信は禁物
- III アップ&ダウンロード前に一呼吸、客観的に見直してみることも大切

気軽な利用は「プライベート」だけ、規範意識をもって使える社会人に!

規範意識 ココがポイント! 公私を区別し「さすがデジタル世代」な使い方を

- I 社会的制裁を受けるような“うっかり”は、自らを陥れることを忘れない
- II プライベート用と仕事用、物理的に分けて社会人規範を保つのも一案
- III SNSでやると危険! 愚痴やストレス発散は趣味や居酒屋がお勧め

「何がダメか」ではなく「どうすればいいか」が重要。
対処療法ではなく、納得して行動できる伝え方を!